



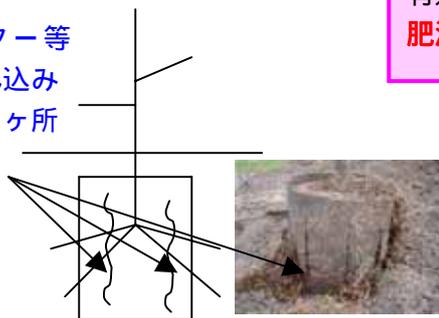
## りんごの大苗移植に市販不織布ポットが利用できます

### 【1. ポット苗の利用はこんな成果】

- (1) 市販の不織布ポットを利用した2年生苗/JM7は、定植時に切れ込みを入れることにより、ポット外まで根域が拡大して、根量が増加し、初期生育が良好となります。さらに、花芽着生が図られ、定植翌年から収穫が可能となります。
- (2) 定植時にポットを外して植えた2年生苗/JM7は、花芽の形成が遅く、初期収量が少ないものの、生育は旺盛で樹冠が早く大きくなります。

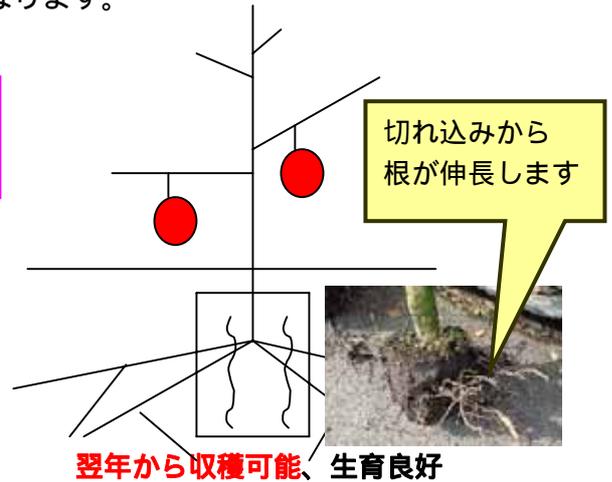
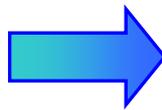
#### ポットに切れ込みを入れ定植

カッター等で切れ込み  
6~8ヶ所



定植時に切れ込みを入れる  
(労力少ない)

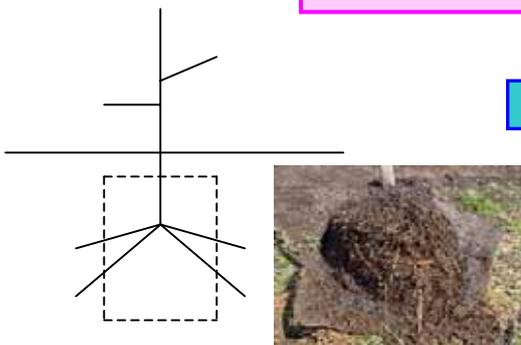
有効土層が深く、  
肥沃な土壤に!



切れ込みから  
根が伸長します

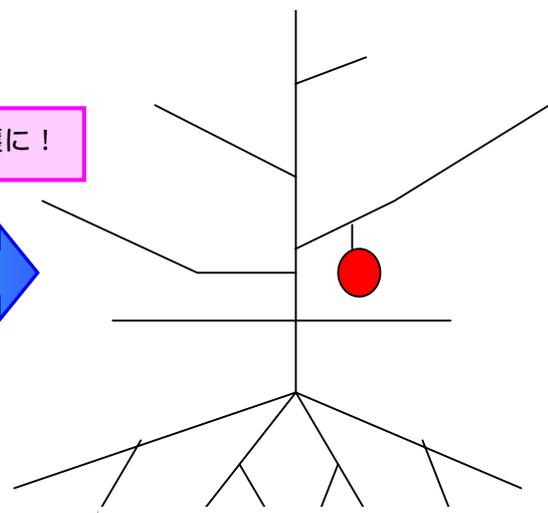
翌年から収穫可能、生育良好

#### ポットを除去して定植



定植時にポットを除去  
(やや労力必要)

土壤肥沃度が中位な土壤に!



生育旺盛、初期収量は少ない

### 【2. ポット養成苗はこんな課題を解決】

りんご樹の老齢化や品種更新等の課題を解決するには、新・改植(植え替え)が必要です。しかし、新・改植後、実が成るまでには時間がかかり、収入減にもなります。

ポット養成苗は、定植翌年から収穫可能で、実が成るまでの期間の短縮化が可能となり、経営的メリットも大きくなります。

### 【3. ポット養成苗はこんな方に】

- (1) 新・改植を計画している方
- (2) ポットの自作を省略したい方や定植時の労力を抑えたい方

### 【4. ポットにかかるコスト(資材費)は】

不織布ポット	生分解性不織布ポット	自家製ワリフポット
約140円/袋	約160円/袋	約17円/袋